



もう一度見直そう！〔電通共済加入促進運動〕

資料が届いたら必ず開封し 加入内容を確認・検討しよう

■5月12日(木)資料発送 ■7月15日(金)〆切



この加入促進の資料は5月12日から発送されています。封筒が届いたら必ず開け(〆)、最初に**加入内容をきちんと確認**されるようお願いいたします。

まずは封筒を開けよう

既に電通共済加入促進の資料

新型コロナウイルスは次々と形を変え、収束する気配は一向に見えず、油断できない生活を余儀なくされています。

近年台風や豪雨、地震などの大規模な自然災害が頻発し、未曾有の災害をもたらしており、自然災害に対する「自助」としての「備え」がこれまでも増して重要になっています。

三月十六日に発生した福島県沖地震は、県内に多くの被害をもたらしました。会員からは現在百八十件を超える被害報告が届いております。

不慮の自然災害に備え「標準タイプ」から「大型タイプ」へ変更の検討を

は五月十二日にご自宅宛てに発送されており、遅くとも十六日の週には到着しているはずですが、到着したら先ず、自分が加入している内容を良く確認してください。現在の口数と給付額を試算され、この機会にぜひ見直しを考えては如何でしょうか。

今回の地震についても被災した方の中で、火災共済には加入していたが、「自然災害共済」には加入していなかったため、給付金が出なかった例が多くありました。改めて見直されることをお勧めします。

「標準タイプ」から「大型タイプ」へ



各種共済問合せ先

◆NTT退職者の会福島県支部協議会

- ・出勤曜日=月・火・木
- ・電話=024-534-1144

◆電通共済コールセンター

0120-211-114

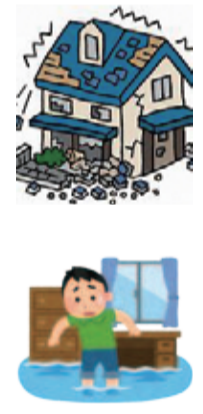
- ・受付時間=9:00~17:30
- 土・日・祝日を除く

「自然災害共済」の「大型タイプ」は「標準タイプ」と比較して掛け金の違いは少ないが、保障は大きいので、ぜひご検討ください。

これまで災害に遭われた方々は、「まさか自分か」と思っていたことが実際に起こって落ち込んでいた時、電通共済の給付金で立ち直ることができました」と加入内容の見直しを強く訴えておられます。今回送られた資料の中にも、実際被害に遭われた方の経験談が載っていますので、参考にしてください。

「マイ・セーフティ」は、「医療」と「傷害」が保障され、自宅の階段でのケガや交通事故にも適用されますので併せてご検討ください。

プレゼントがもらえる「写真&川柳」募集のチラシも入っていますので応募してみてください。



ウクライナ緊急支援カンパ集約状況

温かいご支援に感謝申し上げます
【4月30日現在の金額です】

地区協	組織カンパ		個人カンパ	
	金額	人数	金額	
福島	0	108	371,695	
二本松	13,000	0	0	
郡山	30,000	0	0	
須賀川	10,000	1	2,000	
白河	13,900	0	0	
石川	36,000	0	0	
三春	10,000	1	3,000	
会津	50,000	55	257,000	
いわき	5,000	77	350,907	
南相馬	30,000	1	2,000	
相馬	15,000	0	0	
計	212,900	243	986,602	
合計			1,199,502円	

『石橋みちひろ』の更なる支持者拡大に取り組みよう！

初夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、「石橋みちひろ」の政治活動のために、NTT労組退職者の会宛に紹介者カードをご提出いただき、誠にありがとうございました。

「石橋みちひろ」参議院議員(比例代表選出)は、平和、労働、安心・税制、社会保障などの政策を掲げ、国民が安心して暮らせる政治をめざし、国会活動をはじめ、日々全身全霊をかけて地道な政治活動に取り組み、東西奔走駆け巡り奮闘しています。

私たち、NTT退職者の会も「石橋みちひろ」の政策に共鳴し、政治活動を長年にわたり応援して参りました。

皆様におかれましても、ぜひ「石橋みちひろ」の政策へのご理解と政治活動へのご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



第三回地区協代表者会議 (Web) 開く

四月二十日に第三回地区協代表者会議をWeb方式で開催し、電通共済の加入促進と参議院選挙闘争等、今後の取り組み課題について協議しました。

一、電通共済生協春の加入促進の取り組み

二、七月実施予定の参議院議員選挙三選を目指した「石橋みちひろ」支持者・紹介者カードの集約と拡大の取り組み

三、三・一六福島県沖地震の被害状況

四、ウクライナ支援カンパ

五、グラウンドゴルフ大会

六、事務局次長の承認

空席になつていた事務局次長に、福島地区協議会の大和修君が本会議において承認されました。



新事務局次長 大和 修

会員紹介コーナー

お米栽培で数々の受賞に輝く

会津地区協議会 湯田 孝義

早いもので、退職し三年目を迎え、ペンを執っております。

コロナ禍の中での記事投稿、ウクライナの戦争、そして、三月十六日福島県沖地震と、世界を取り巻く情勢は、非常に厳しい状況にあります。

戦後生まれの私たちはかつて、経験のない、①コロナウイルスとの戦いは、まさに世界有事といっても過言でない中、②今度、起こしてはならない武力行使による、ロシアとウクライナの戦争、③三・一一東日本大震災に続き、三・一六の太平洋プレート地震、④そして大雪、そんな中全国的に共通しています。いま農業の担い手がいないので、間もなく七十に手がとどくときに、集落の担い手として、農業に取り組んでいます。



農業や食文化の発展に情熱を燃やす湯田さん

十ヘクタールの水田、直売所への野菜集荷と日々過ごしております。

その中で、水稲の内容をご紹介いたします。①慣行食料米六ヘクタール、②飼料用米三ヘクタール、③漢方無農薬米一ヘクタール、品種は①コシヒカリ、②ひとめぼれ、③ミルキークイン、④ゆうだい二十一号、⑤縁結び、⑥いのちの苅、の六種類の栽培をしております。

その中で、平成二十七年、ミルキークイン国際食味コンクールで最優秀受賞、令和二年、ゆうだい二十一号国際食味コンクール国際総合部門で金賞受賞、令和三年、いのちの苅おこめ番付日本一で最優秀賞をいただきました。

特に無農薬栽培は、文字通り全く農薬を使わず、科学肥料を使わず、苗作りから品質管理を徹底し、南会津の自然環境に合わせた土作り、いわなが育った棲んだ水を利用した有機特別栽培米です、今年で十二年目です。その間、有機JAS認定取得、修学旅行生徒による体験型農業、草取り作業と楽しい農業に取り組んでいます。

乾燥方法は①乾燥機による乾燥、②はさがけによる自然乾燥をしています。今、コロナ禍で活動は休止しておりますが、就学旅行生徒の農業体験は、人づくり、地域づくり、そして、子供達に夢と希望と感動を与え、また、食育としても楽しい事業であります。我が家の食育の柱は次の三つであります。①そば打ち体験、②もちつき体験、③しんごろう体験の三つを旨目にしております。早くコロナ禍が落ち着き、農業体験ができればと願っている

退職者の会では「石橋みちひろ」を推薦しています



とともに、一日も早くロシアとウクライナの戦争が終わり、福島島の復興を願っているところでもあります。

雲上の未踏峰に魅せられて

白川地区協議会 大竹 朋夫

平成十六年八月八日、私たち中国チベット友好登山隊は、チベット自治区・ニンチンタングラ



頂上に到達し感動の一瞬 (右から二人目)

新しい会員をご紹介します (2021年8月1日～2022年4月1日)



- 【福 島】**
 - 荒井 義勇
 - 五十嵐 博信
 - 石川 清裕
 - 岡村 一夫
 - 小野 亨
 - 檜村 徹夫
 - 菊田 義弘
 - 小荒井 時雄
 - 後藤 実
 - 近野 三男
 - 斎藤 仁
 - 佐久間 好治
 - 大戸 仁子
 - 丹野 キヌ
 - 中越 幸司
 - 二階堂 政則
 - 森合 治一郎
 - 大和 修
 - 横山 美由樹
 - 【二本松】**
 - 卯月 正人
 - 後藤 晋一
 - 【郡 山】**
 - 石井 一郎
 - 上田 恭子
 - 大槻 誠
 - 斎藤 美都利
 - 佐々木 邦男
 - 田代 博文
 - 長井 兼二
 - 村田 耕二
 - 吉田 陽路
 - 渡邊 章太郎
 - 【須賀川】**
 - 紺野 武志
 - 高久 田和行
 - 高橋 仁一
 - 【白 河】**
 - 市川 剛
 - 【三 春】**
 - 宗像 弘二
 - 若林 秀治
 - 【会 津】**
 - 穴澤 公男
 - 五十嵐 正則
 - 大塚 健治
 - 田村 陽一
 - 鶴賀 章
 - 古川 弘行
 - 山口 裕二
 - 【いわき】**
 - 薄井 伸彦
 - 筒井 順一郎
 - 藁谷 好昭
 - 【南相馬】**
 - 青田 隆
 - 遠藤 利子
 - 【相 馬】**
 - 荒川 洋子
- (合計50名)



山脈未踏峰の「甲格宗峰」(ジャゴン)五、九〇四m及び六、一二六m無名峰」をめざし白河市を出発、羽田一福岡を経て成都から拉萨へ向かった。

女性三名を含む、総勢十二名で結成された登山隊である。当時でも年齢は平均五十四歳、四十二歳から六十八歳で構成され、中高年登山隊に位置する。私は六十歳の海外登山初挑戦、いよいよ白河市を出発し現地に向かう十七日間の旅が始まった。

八月九日憧れの拉萨空港(富士山と同じ程度の高度)に降り立った。八月十二日登山行動の開始、先ずベースキャンプの設営(標高四、六〇〇m、テント数十張り、十三日アタックキャンプの設営(標高五、六〇〇m地点)八月十六日未踏峰の頂上にアタック、朝の九時にACを出発、一班二名、二班三名、三班三名に分かれ難所中の難所を登る。呼吸が乱れ足の疲労もピークに達し、山頂の手前では殆んど動きが鈍くなり、いたずらに時間だけが経過した。それでも互いに励ましあい、ついに山頂に立つ。まさに感動の瞬間であった。

参加者の約半数程度が頂点を克服、主に高度障害が原因であるが、今回の挑戦の厳しさを感じた。

ちなみに私は高度障害にもかかわらず比較的元気で、事前に自転車、マラソン、水泳等の鍛錬が功を奏したものと思ってる。山頂に立つても気分爽快、無事下山できた。

この経験を活かし、これからも元気に頑張りたいと思います。